

ちば文化だより

# Millefeuilles

ミルフィーユ Vol.4



contents

## 特集 今年は千葉県誕生150周年

### 特集2

インタビュー

小笠原 響 (演出家)

インタビュー 2

運命の出会い

鳳聲 晴久 (邦楽囃子笛方)

川の文化手帖..... 矢切の渡し

CHIBAプライド..... 房州びわ

ちばと芸能..... 鬼来迎 横芝光町

文化の入り口..... ようこそホールへ!

ちばゆかり人..... 和田 裕太

CHECK!  
チケットプレゼント





# 特集 今年は千葉県誕生150周年 文化芸術イベントで 千葉県を盛り上げます!

明治6年(1873)に千葉県が誕生して今年で150周年を迎えます。この節目の年を千葉県全体で盛り上げるため、千葉県東総文化会館・千葉県南総文化ホール・青葉の森公園芸術文化ホールのほか県内全域のホールを活用し、千葉県・市町村・各種文化団体と連携した文化芸術イベントを開催します。

国内外で活躍するソプラノ歌手の森麻季さんとNHK交響楽団メンバーによる弦楽五重奏演奏会、千葉県でも人気の高い宝生流宗家による『青葉能』、豪華キャストによる日生劇場の音楽劇、0歳から鑑賞できる『おやこdeオペラ』など、世代を超えて楽しめる公演を実施。また、『ちば演劇プロジェクト演劇発見ワークショップ』や『伝統芸能スコラ』など、鑑賞だけでなくワークショップを通じて、文化芸術の魅力を体感できるイベントを実施します。さらに、千葉大学やNPO法人と連携した創作狂言など、千葉ならではの文化芸術の創造・発信につながるイベントも予定しています。

千葉県誕生150周年を契機に、さらなる文化芸術の振興を目指して、県内各地で多彩な事業を展開し、千葉全体を盛り上げます。どうぞご期待ください。

## 令和5年度 イベントラインナップ (一部)

県内各地でさまざまなジャンルの公演を開催予定です。鑑賞だけでなく、より文化芸術を楽しんでいただけるよう体験型ワークショップなどを取り入れた公演もあります。



### ダンス

気鋭の振付家・ダンサーの北尾亘さんによる映像を交えたコンテンポラリーダンスや、同じく振付家・ダンサーとして国内外で活躍する中村蓉さんの演出による、千葉の海をテーマにした『ちばでおどれば!』など、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる公演を開催します。

- 11/12(日) **ちばでおどれば! 四街道公演**  
四街道市文化センター
- 3/17(日) **北尾亘ダンス公演**  
千葉県南総文化ホール



### 演劇 & ミュージカル

劇団四季のファミリーミュージカルや、日生劇場の企画・制作によるミュージカルを上演。また、舞台の創造過程を体験するワークショップも実施します。

- 8/13(日) **劇団四季『人間になりたがった猫』**  
千葉県南総文化ホール
- 9/9(土) **日生劇場 音楽劇『精霊の守り人』**  
千葉県東総文化会館
- 10/7(土)～ **ちば演劇プロジェクト『演劇発見ワークショップ』**  
青葉の森公園芸術文化ホール
- 10/22(日) **フランドン農学校の豚** 君津市民文化ホール



千葉県誕生150周年を盛り上げます!

**2023.6/11[日]**

**千葉県誕生150周年記念行事  
オープニングイベント**

千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

6月に開催するオープニングイベントでは、記念式典をはじめ、イベントや体験コーナー、特産品販売など千葉の魅力が盛りだくさん! ぜひ足をお運びください。

**森のホール21(松戸市文化会館)**

**記念式典** 12:45～(大ホール・事前申込制) 5/19締切。  
空席有の場合は当日整理券配布

**ミュージックライブ** 11:00～(小ホール・当日先着順入場)

**DANCE Fes.in CHIBA** 15:30～(小ホール・当日先着順入場)

**21世紀の森と広場**

**アート体験コーナー**  
自然を活かした屋外アート体験

**県立博物館・美術館 ワクワク体験コーナー**

**グルメコーナー**  
千葉県ゆかりの美味しいグルメを販売

**BMX体験コーナー**  
佐々木元選手(松戸市在住)によるステージパフォーマンスや体験

**千葉の魅力発見コーナー**  
千葉の魅力を再発見できるブースがいっぱい

ほかにも千葉県警音楽隊・カラーガード隊の演奏・演技や、千葉県にまつわる展示、ちば〇×クイズ大会、体験コーナーなど、お楽しみが盛りだくさん!

詳細はこちら

ちばと  
芸能鬼  
来  
迎地獄の責め苦と救済を再現した  
“鬼が主役”の仮面劇

山武郡横芝光町虫生のこうさいじ広済寺に伝わる鬼来迎は、仏教の因果応報と勧善懲悪の教えを説く、仮面による地獄劇。国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

その由来は古く、せきおく薩摩国の禅僧・石屋が諸国を遊行していた鎌倉時代初期のこと。妙西信女という17歳の新霊が鬼に責められている様を目撃した石屋は、彼女の墓堤を弔うために広済寺を建立

しました。その後、その娘が菩薩に済度された情景を夢に見た運慶・湛慶・安阿弥の彫刻師3人が、はるばる石屋を訪ねます。かつて見た地獄の責め苦と菩薩の慈悲を形に残し、仏教の教えを伝えたいという石屋の意向を聞いた3人は、閻魔大王や鬼の面象を彫刻。それらを石屋と共に顔に当て、「鬼来迎」を演じたのです。

鬼が主役という全国的にも珍しい鬼来迎は「鬼舞」とも呼ばれ、地獄に落ちた罪人を鬼が責め、やがて地藏菩薩の慈悲によって救われる



▲鬼から親に先立った親不孝を責められているところを、地藏菩薩が子どもたちを救い出します。

という筋を描いた「大序」「賽の河原」「釜入れ」「死出の山」と、広済寺建立縁起を物語る「和尚道行」「墓参」「和尚物語」という全七段の構成。毎年8月16日に施餓鬼法要の後、広済寺の境内で演じられています。かつては広済寺本堂近くの地藏堂で披露されていましたが、昭和46年(1971年)にがけ崩れで倒壊したため、以降は仮設の舞台で行われるようになりました。現在は舞台の設営から衣装の整備まですべて地元の人々が行い、後世へと受け継いでいます。また、鬼婆に赤ん坊を抱いてもらおうと健康に育つという言い伝えがあり、見物客だけでなく我が子の

健やかな成長を願う家族も全国から多く集まります。

◀鬼婆が赤ん坊を一人ずつ抱いて健康を願う虫封じが行われます。怖さと迫力に子どもたちは大泣きするそう。

画像提供：横芝光町教育委員会

音  
楽

弦楽四重奏団「クアルテット・エクセルシオ」やドイツ出身のヴァイオリニスト、ヴェロニカ・エーベルレなど、注目のアーティストによる演奏会を開催。千葉県少年少女オーケストラの定期演奏会もお楽しみに!

- 7/15(土) **第36回若い芽のαコンサート**  
市川市文化会館
- 9/11(月)・12(火) **ヴェロニカ・エーベルレ  
ヴァイオリンリサイタル**  
千葉県南総文化ホール(11日)  
千葉県東総文化会館(12日)
- 11/25(土) **森麻季&N響メンバーによる弦楽五重奏**  
佐倉ハーモニーホール(佐倉市民音楽ホール)
- 2/23(金・祝) **クアルテット・エクセルシオコンサート 東総公演**  
千葉県東総文化会館
- 3/31(日) **千葉県少年少女オーケストラ 第28回定期演奏会**  
東京芸術劇場

伝  
統  
芸  
能

伝統芸能を身近に感じられる機会として、毎年恒例の『青葉能』や邦楽四重奏団によるコンサートを開催。さらに、歌舞伎の踊りや演奏の鑑賞だけでなく体験もできる『伝統芸能スコラ』を県内各地で実施します。

- 8/6(日)・27(日) **伝統芸能スコラ「かぶきを楽しもう～おはやし編～」**  
市川市市民会館(6日)  
千葉県東総文化会館(27日)
- 8/19(土) **伝統芸能スコラ「かぶきを楽しもう～日本舞踊編～」**  
青葉の森公園芸術文化ホール
- 1/6(土) **～創作狂言～千葉の羽衣物語**  
青葉の森公園芸術文化ホール
- 1/21(日) **第43回青葉能** 青葉の森公園芸術文化ホール
- 2/24(土) **邦楽四重奏団 in 青葉**  
青葉の森公園芸術文化ホール

子  
ども  
向  
け

子どもたちが理解しやすいよう演出した『おやこdeオペラ』、海をテーマにしたコンサートなど、子ども向けイベントを実施。さらに、0歳から参加できるワークショップなど、文化芸術への関心を高めるイベントも行います。

- 7/22(土)～ **おやこdeオペラ『シンデレラ』**  
青葉の森公園芸術文化ホール  
ほか県内5箇所
- 8/11(金・祝) **〈夏休み子どもシアター〉  
ベイベーシアター『KUUKI』**  
青葉の森公園芸術文化ホール
- 〈夏休み子どもシアター〉  
うみをこえて～邦楽とピアノのコンサート～**  
青葉の森公園芸術文化ホール
- 11/3(金・祝) **東京文化会館ミュージック・ワークショップ  
『森の王様のフェスタ』**  
青葉の森公園芸術文化ホール







演出家  
小笠原響

フリーの演出家として活躍する一方、講座などを通じた演劇の普及活動にも尽力している小笠原響さん。演劇に懸ける思いや、今年秋に開催される『ちば演劇プロジェクト 演劇発見ワークショップ』への意気込みなどをお話いただきました。

——小笠原さんと千葉とのご縁についてお聞かせください。

修行時代の初めての地方公演が千葉でした。演出家になってからも市民ミュージカルを上演するなど、何かと千葉とは縁がありました。

——初めて演劇の魅力に触れたのはいつ頃でしたか？

両親が俳優座の俳優だったこともあり、幼い頃から公演のたびに舞台を鑑賞していました。家庭とはまったく違う父と母の姿を見て「すごい」と思う一方、演劇で生活する大変さを知っている両親からは「この世界に入るな」と言われ、気軽に夢として抱くことはできませんでした。

——それでも演出家を志した理由は？

舞台の最終リハーサルを見学する機会があり、客席の中央に座って俳優やスタッフに指導を行う演出家の姿を見て、その存在感が強く印象に残り興味を持ったのです。まずは舞台の裏方や演出助手を務め、演出家として世に出るまで20年ほどかかりましたが、多くの現場を通じて人脈を広げたり、様々な演出家から良いところを学ぶことで、腕を磨く糧になったと思います。

——作り手として演劇の魅力はどこにあると思いますか？

演劇は、日常とは異なる別世界のドラマを生身の人間が観客の目の前で演じるもの。作り手にとっては嘘やごまかしが一切かかず、高いパフォーマンス能力が試されます。そのエネルギーを目の前で体感できることこそが演劇の醍醐味で、俳優と観客が一体となる瞬間を作り出せた時は充実感を感じます。

——普段の演出において心がけていることはありますか？

舞台でその日の瞬間に生まれる感情や動き、そして俳優の創作意欲を大事にしています。一方、演出家の意見が俳優に与える影響は大きいいため、指導を求められて「こうしなさい」と答えを与える演技の可能性を狭めることになりません。そこで、ヒントを提示して俳優自身に答えを見つけてもらうなど、言葉を選んで指導しています。

——昨年千葉で行われた『演劇でエンジョイ！芸術の秋』絵本と名曲で楽しむ演劇講座』など、アマチュアを対象としたワークショップを積極的にされていますね。

過去に地元の埼玉で市民劇団の演出を務めていた頃、一般の人々が演劇と触れた瞬間に生まれる新鮮なパワーに感動したことがあって、プロと舞台を作る時とは別の面白さを感じています。また、日本は欧米ほど演劇文化が醸成されておらず、こうした草の根活動によって舞台の

舞台でしか得られない充足感を  
一人でも多くの人に体験してほしい



千葉県の自然で生まれ育った文化・芸術を紹介します

## 矢切の渡し

松戸と柴又を手漕ぎ舟で往復する  
江戸川唯一の“渡し”

江戸川に唯一現存する渡し舟で、松戸市下矢切と対岸の葛飾区柴又を往復する「矢切の渡し」が始まったのは江戸時代初期のこと。当時、江戸への出入りは関所で厳しく規制されていました。そんな中、昔から物資運輸に使われる主要な川だった江戸川の両岸に田畑を持つ農民には、関所を通らず自由に舟で行き交う特権が与えられ、渡し舟が江戸川の対岸を結ぶ重要な交通機関となったのです。



©Chiba Prefectural Tourism & Local Products Association

矢切の渡しは明治39年（1906年）に発表された伊藤左千夫の小説『野菊の墓』の舞台になったことで一躍有名となり、渡し場から近い西蓮寺の境内には、小説の一節を描いた「野菊の墓文学碑」が立っています。現在も地元の人や観光客の足として利用されていて、情緒豊かな木製の渡し舟でのゆったりした船旅を片道200円で楽しめます。「残したい日本の音風景100選」に選ばれていて、舟を漕ぐ櫂の音や鳥のさえずりにも耳を傾けたくくなります。



千葉県が誇るモノやコトを紹介します

## 房州びわ 明治時代から皇室に献上



南房総地域を中心に栽培されているびわは「房州びわ」と呼ばれ、270年以上の歴史を有するとされています。明治42年（1909年）からは、皇室献上が行われ続けています。

### 大粒で瑞々しく、貴婦人のように美しい健康果実

千葉県は長崎県の茂木びわと並んで日本の二大びわ産地に数えられています。房州びわは果実が大きく、瑞々しさや上品な甘みが特長で、その形の美しさから“果物の貴婦人”とも呼ばれています。皇室に毎年献上されているのも、そうした品質の高さがあるからこそ。収穫できるのはハウスびわが5月、露地びわが6月で、びわ狩りを楽しむこともできます。

びわはβ-カロテンを含む果実で、そのまま丸かじりするだけでなく、ジャムやコンポートなどの加工品で味わうのもオススメ。葉にも優れた薬効があるといわれ、びわ茶も名産品として親しまれています。



道の駅とみうら 枇杷倶楽部のホームページはこちら

◀「道の駅とみうら 枇杷倶楽部」では、房州びわを使ったメニューはもちろん、びわの葉エキスが入ったボディケア製品なども充実。全国道の駅グランプリで最優秀賞を受賞している千葉を代表する人気の道の駅。

各回にテーマを設け、日本の演劇シーンの第一線で活躍するプロの演出家や舞台美術家や衣装デザイナーを招き、舞台芸術に関わる仕事を体験するワークショップです。

## ちば演劇プロジェクト 演劇発見ワークショップ

令和5年10月7日(土)～11月23日(木・祝) 全9回

場 所：青葉の森公園芸術文化ホール

参加費：3,000円

対 象：中学生～30歳以下



◀詳細はホームページをご覧ください

鑑賞者や作り手のすそ野が広がってほしいと願っています。いわば未来への種まきですね。

—— 今年の10月に開催する『ちば演劇プロジェクト 演劇発見ワークショップ』への意気込みをお聞かせください。

俳優だけでなく音響や照明など演劇を作り上げている様々な役割を紹介することで、演劇の見方の幅を広げてほしいと思います。そして、多岐な形で演劇に携わりたいと思うきっかけになれば嬉しいです。

最後に、演劇の世界を目指す若い人たちに一言お願いします。

演劇の世界には魅力溢れる人たちがたくさんいて、彼らと関わることで私の



人生に広がりをもたらしてくれました。また、自分の日常とかけ離れた知らない世界を作り出す日々は、冒険のようにワクワクさせてくれます。そうした楽しさや充足感を多くの人に体験してほしいです。

聞き手：八木郁帆(公益財団法人千葉県文化振興財団) 写真：上平庸文

●プロフィール  
1963年東京生まれ。フリーで現代演劇の演出を手掛ける演出家。劇団俳優座、劇団昂をはじめ大手劇団の公演や都内プロデュース公演の演出を担当。市民演劇・ミュージカルの演出も多数。日本演出者協会会員。元日本芸術文化振興会プログラムオフィサー。2018年に『白い花を隠す』『屠殺人フツチャー』で第25回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。



注目の若手アーティストたちにインタビュー。彼らの活動に大きな影響を与えたモノや人との出会い、そして文化芸術への情熱を語っていただきます。



## 音楽の垣根を越えて 邦楽を未来へつなぐ

### 鳳聲晴久 ほうせい はるひさ 邦楽囃子笛方

1982年千葉県生まれ。9歳で大叔父の西村尚己に祭囃子の手ほどきを受け、15歳で江戸里神楽若山流四世家元の若山胤雄師に祭囃子と神楽囃子を、18歳で鳳聲晴雄師（若山胤雄師の邦楽名）に長唄囃子を師事。2004年に鳳聲晴久の名を許され、長唄囃子および神楽や祭囃子の笛の演奏家として活躍。また、オリジナル曲を中心に実験的な音作りや、新潟の角兵衛獅子囃子の復曲など幅広く意欲的な活動を行う。

「出身が佐倉市とのことですが、どのような環境で育ったのでしょうか？」

佐倉は秋祭りが盛んで、江戸時代に製作された山車が練り歩きます。その環境もあって物心がつく前から祭囃子が好きになり、町会の子どもたちと演奏に参加するようになりました。大人の指導者がいなかったため、子ども同士で近所の社に集まっては伸び伸びと楽しみながら練習していました。

「最初から笛を演奏していたのですか？」

最初は太鼓ばかりでしたが、祭囃子の花形である笛をどうしても演奏したくて、大叔父に頼んで稽古を受けるようになりました。そして他の人の演奏もいろいろお聞きして吸収し、研鑽を積んでいく日々が楽しくて仕方なかったです。

「いつ頃から伝統芸能としての祭囃子の演奏家を志すようになったのですか？」

自然な巡り合わせでした。中学生の頃に大叔父の仕事が忙しくなったので新しい稽古先を探すことになり、若山胤雄師を紹介されていっそう稽古に励みました。その後、東京藝術大学邦楽科に進学して歌舞伎囃子も習い、卒業後に邦楽囃子笛方として活動をはじめました。

「東京藝術大学には邦楽志望者以外の学生も集まるので、多くの刺激を得られたのではないのでしょうか？」

はい。元々3歳からヴァイオリンを習っていたりDTM（パソコン）を利用した音楽制作に熱中していたので、他のジャンルの楽器との垣根を感じることもなく邦楽以外の多様な演奏家たちと交流を深めることができました。邦楽

科の作曲発表会には弦楽器、トロンボーン、キーボード、パーカッションなどの仲間と総勢20人の大編成で参加し、先生たちをあ然とさせたこともあります。現在も学生時代の仲間とピアノ・チェロ・笛のトリオを結成し、即興的な演奏を楽しんでいます。

「古典以外にもオリジナル曲を作ったり、ジャズとのセッションや西洋音楽を篠笛で演奏するなど意欲的に活動していますが、どのような思いを込めているのですか？」

現代に邦楽囃子が演奏され、未来に継承されるためには、時代に沿って新しい曲を作ることも必要です。バツハの楽曲に挑戦したのは、伝統的な日本の音律との共通性があると考えたため、篠笛の可能性を広げるためなのです。今後は空間に漂う笛の残響音にも着目して、音響技術などを用いた新しい響きを追求したいと思っています。

「毎年青葉の森公園芸術文化ホールで開催している『伝統芸能スコラ』に出演しているのも、同じような思いでしょうか？」

そうですね。この公演が素晴らしいのは0歳から参加し演奏を体験できること。私のように小さい頃からジャンルを越えて邦楽器の音を感覚的に楽しみ、演奏への意欲を高めてくれたら嬉しいです。

「今後の意気込みをお聞かせください。」

邦楽を海外に発信し演奏家の活躍の場を広げると同時に、海外からも様々なエッセンスを吸収し、新しい音楽を生み出したいです。

聞き手…橋本志世(公益財団法人千葉県文化振興財団)  
写真…上平庸文

鳳聲晴久さんが出演する  
大人も子どもも楽しめる  
体験・レクチャー型の演奏会

『伝統芸能スコラ』

『かぶきを楽しもう～おはやし編～』

8月6日(日) 市原市市民会館 / 8月27日(日) 千葉県東総文化会館  
全席自由: 大人1,500円 高校生以下500円 楽器体験付き+500円 ※3歳未満無料

『かぶきを楽しもう～日本舞踊編～』

8月19日(土) 青葉の森公園芸術文化ホール  
全席自由: 大人1,500円 高校生以下500円 舞踊体験付き+500円 ※3歳未満無料

## 特集2 『ようこそホールへ!』

### 各ホールの注目公演をご紹介します

ホールに足を運んで、新しい発見や感動と出会ってみませんか。

#### 千葉県東総文化会館

##### ヴェロニカ・エーベルレ ヴァイオリンリサイタル

9月12日(火) 14:00開演

日本音楽財団との協定プログラムとして、ヴァイオリンの名器・ストラディバリウスの貸与を受け、世界的に活躍するヴェロニカ・エーベルレのリサイタルを開催します。わずか16歳でベルリン・フィルと共演するなど、早くからその将来を囑望され、日本でもNHK交響楽団や読売日本交響楽団など名だたるオーケストラと共演。才気あふれる美しい音色をご堪能ください。



©Felix Broede

Supported by THE NIPPON  
FOUNDATION

- 出演 ヴェロニカ・エーベルレ(ヴァイオリン)  
山田武彦(ピアノ)
- 料金 一般¥2,000 U-30(30歳以下)¥1,000  
小中高生¥500(全席指定)

南総公演もあります!

9月11日(月) 14:00開演 千葉県南総文化ホール

#### 千葉県南総文化ホール

##### 劇団四季ファミリーミュージカル 『人間になりたがった猫』

8月13日(日) 14:00開演

劇団四季ファミリーミュージカルの中で最多上演数を誇る名作。魔法によって人間の姿に変えられた猫のライオネルが繰り広げる、感動の物語。躍動感いっぱいのダンスと、心に訴えかける歌の数々で、人間の素晴らしさ、命や仲間の大切さを教えてくれる心温まるミュージカル作品です。観終わった時、皆さんの心には、明るく生きていこうという思いが溢れてくるでしょう。



- 出演 劇団四季
- 料金 一般¥6,000  
高校生以下¥3,000(全席指定)  
※3歳以上有料, 3歳未満入場不可

#### 青葉の森公園芸術文化ホール

##### ベビーシアター『KUUKI』

8月11日(金・祝) 11:00開演/14:00開演

0歳から1歳6か月の乳幼児の観る力・聞く力・感じる力に働きかけ、コンタクトを取りながらともに舞台を作り上げていく体験型の公演です。クロマチックアコーディオンの生演奏とダンスパフォーマンスが、舞台に美しく優しい空間を生み出します。赤ちゃんにとって生まれて初めてとなる劇場体験の「空気」を、一緒に感じてみませんか?



©M. Zakrzewski

- 出演 かとうかなこ、松田紀子、はらだまほ
- 料金 大人・子どもペア¥1,500  
大人¥1,500 子ども¥500(全席自由)
- ※対象年齢 0~18か月  
※対象年齢以外のお子さまの入場はおこわりたいします



#### 千葉県少年少女オーケストラ活動の様子



4月4日(火)、青葉の森公園芸術文化ホールにて令和5年度千葉県少年少女オーケストラの入団式を行いました。千葉県文化会館が大规模改修工事で休館中のため、今年度より活動拠点が青葉の森公園芸術文化ホールとなります。

20名の新入団員を迎え、「みんなで協力しよう」を目標に令和5年度の活動がスタートしました。6月11日(日)に出演を予定している『千葉県誕生150周年記念行事オープニングイベント』へ向け練習に励んでいきますので、応援をよろしくお願いいたします!



#### 千葉県誕生150周年記念 およこdeオペラ『シンデレラ』~0歳でもOK! みんなが楽しめる歌芝居~

マスネ作曲のオペラ『サンドリヨン』を馴染みのある原作の『シンデレラ』として上演します。0歳から鑑賞できて、大人も子どもも楽しめます。おとぎの世界「落花生王国」を舞台に、みんなで力を合わせてシンデレラを助けよう!

##### あおば公演

7月22日(土) 14:00開演  
青葉の森公園芸術文化ホール

##### やちよ公演

7月30日(日) 14:00開演  
八千代市市民会館 小ホール

##### なんそう公演

8月5日(土) 14:00開演  
千葉県南総文化ホール 小ホール

##### のだ公演

8月27日(日) 14:00開演  
興風会館 大ホール

##### きみつ公演

9月3日(日) 14:00開演  
君津市民文化ホール 大ホール

##### とうがね公演

9月10日(日) 14:00開演  
東金文化会館 小ホール

##### ロビーイベント

##### クリスタルプレス づくり

作ったクリスタルプレスを着けてミラクルをおこそう!  
(各日 13:00~ 無料)



昨年の公演(2022年)  
およこdeオペラ「まじっく・ふるうと」

■料金 大人¥1,600 子ども(小学生以下)¥1,000(全席自由) ※3歳未満は保護者1名につきお子さま1名までひざ上無料。お席が必要な場合は有料。



# ちば ゆかり人

千葉県にゆかりのあるアーティストや職人を紹介します



▲ファミリーミュージカル 出演時の一枚

## 生まれ育った君津で凱旋公演！

今年10月に君津市民文化ホールで上演する『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』に出演する和田裕太さん。中学3年生の時に観劇したミュージカルにとっても感動して、「観客の心を揺り動かす出演者に自分もなりたいたい」と俳優を志しました。高校では演劇部に入り、顧問でもあったミュージカル好きの恩師から影響を受けて、歌も芝居も大好きな「今の自分に繋がっている」とか。演じる時は、「その役としての説得力」を考えて、稽古の時にはトライ・アンド・エラーを繰り返します」と、観客に共感してもらえるよう心がけ、試行錯誤を重ねているそうです。特にコロナ禍以降は、「舞台に立てること自体が当たり前では無いと痛感し、本番の1回1回を大事に、とにかく必死に演じています」とのことです。



### 和田 裕太 わだ ゆうた

千葉県立君津高等学校では演劇部に所属。桐朋学園芸術短期大学芸術科演劇専攻卒業。2011年より2021年までTheatre劇団子(シアトルゲキダンゴ)劇団員として、小劇場を中心に活動。劇団公演他、ファミリーミュージカル「カゴメ劇場 2016・2018」(全国公演・2021年配信公演)、ミュージカル「スベリング・ビー」リーフ・コニーベア役、日曜「明日花」、NHKドラマ「昭和歌謡ミュージカル また逢う日まで」、WOWOW「『エンタス』オンステージ(コーラス参加)」など小劇場からミュージカルまで幅広く出演。



▲「フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～」より 撮影：梁丞佑

地元である君津で公演することについて、「感謝の気持ちでいっぱいです。とても嬉しい反面、正直、めちゃくちゃ緊張しています(笑)。健康に気をつけて本番に備えたいと思います」と意気込みを語ってくれました。

座・高円寺レパトリー 『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』

10月22日(日) 14:00開演 君津市民文化ホール

宮沢賢治の「フランドン農学校の豚」と「注文の多い料理店」をもとに、歌とダンス、演劇ならではの楽しさを入れた「命」を考える物語。上演を通じて農林水産省 第7回食育活動表彰を受賞しました。

## 募集！ 読者アンケート

公演チケットがあたる！

### アンケート内容

『Mille feuilles(ミルフィーユ)』をお読みいただき、ありがとうございます。アンケートにご回答いただいた方の中から、7ページで紹介している『劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」』の公演ペアチケット(1組2名)をプレゼントいたします。ぜひご感想をお寄せください。

**応募方法：**「はがき」もしくは「WEB」にて、アンケート項目と必要事項(お名前、ご年齢、郵便番号、ご住所)をご記入のうえご応募ください。

**送り先：**〒260-8661 千葉市中央区青葉町977番地1 千葉県文化振興財団『ミルフィーユ』アンケート係

WEBからの応募は  
こちらから



**締切：**令和5年7月24日(月) 必着

**当選発表：**厳正なる抽選の上、当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

※当選に関するお問合せには回答いたしかねます。※応募は日本国内在住の方に限ります。※チケットの転売、オークション出品はご遠慮ください。※ご記入いただいた個人情報は厳格に管理し、あらかじめご本人の許可なく、個人が特定できる情報を外部に提供することはありません。※お寄せいただいたご意見やご感想は、当ホームページや広報誌等に転載させていただく場合がございます(いただいた内容を転載する際は事前にお知らせすることなく、必要な範囲で編集する場合があります)。

## 表紙のイラスト

黒板アート作家であり画家のすずきらなさん(旭市出身)に、春～初夏の千葉をテーマに描いていただきました。誌面でも紹介している房州びわを中心、上から初鰹、田植え(稲)、鬼来迎、バラ、矢切の渡しが描かれています。

## ホールへの アクセス

※千葉県文化会館は休館中です

### 千葉県東総文化会館

〒289-2521  
旭市ハの666番地  
TEL:0479-64-2001



- 電車 JR総武本線「旭駅」よりタクシーで約5分／徒歩約15分
- 車 千葉東金道路、圏央道経由、銚子連絡道路・横芝光ICから国道126号銚子方面へ約30分  
東関東自動車道・大栄ICから約40分

### 千葉県南総文化ホール

〒294-0045  
館山市北条740番地1  
TEL:0470-22-1811



- 電車 JR館山駅東口より徒歩約20分
- バス JR千葉駅より高速バス(南総里見号)「南総文化ホール」下車 徒歩約3分  
JR館山駅より  
亀田病院行き、安房白浜行き「南総文化ホール」下車 徒歩約3分
- 車 館山自動車道・富浦ICから約15分

### 青葉の森公園芸術文化ホール

〒260-0852  
千葉市中央区青葉町977番地1  
TEL:043-266-3511



- 電車 京成千原線「千葉駅」より 徒歩約15分
- バス JR千葉駅中央改札東口より星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分  
JR蘇我駅東口より大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分
- 車 京葉道路・松ヶ丘IC／千葉東金有料道路・千葉東ICより約10分

## TICKET

チケットのお申込み・お問合せ



### 1 インターネット予約

※要会員登録 ※一部対象外公演あり  
※深夜3:00～4:00はメンテナンスの為休止



### 2 電話予約 (9:00～17:00)

千葉県東総文化会館 0479-64-2001  
千葉県南総文化ホール 0470-22-1811  
青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

上記の方法にてご予約の上、各ホールの受付カウンター(手数料なし)かクレジットカード(手数料あり520円)、コンビニ(手数料あり520円)にてお支払いください。チケットのお渡しは、カウンターでのお支払いの場合は代金と引き換え、クレジットカードもしくはコンビニ決済の場合は郵送となります。